さかた 市議会だより

第89号
令和8年8月1日号



青空と定期船とびしま

政策提言に向けて
議会はこの3つを調査します

4月臨時議会
令和8年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算を可決

6月定例議会
飛島宿泊事業者支援補助金などの一般会計補正予算を可決

市ホームページ

表紙写真説明

「『しあわせ鳥見んぐ』とコラボした定期船とびしま」

まんがタイムきららで連載中の『しあわせ鳥見んぐ』と定期船とびしまのタイアップ企画では、主要キャラクターの描き下ろしイラストを船体にラッピング。作品の単行本2巻では飛島編が描かれ、定期船とびしまや飛島が登場します。写真は、漫画と定期航路事業所がコラボした定期船とびしまです。

大壁　洋平委員 撮影

政策提言に向けて

議会はこの3つを調査します

市民生活に関わる課題について、3つの常任委員会が調査研究をスタートします。

Theme 1

総務常任委員会

暮らしの土台を支える調査

市民のデジタルスキル向上に関する取組の推進



デジタル関連予算が増大する中、費用対効果の高い行政サービスを実現するには、市民がデジタルツールを使いこなせる環境整備が不可欠です。しかしながら、現状は「一部の意欲的な層」のみならず「市民全体」が広く活用できる状態には至っていません。高齢者や情報弱者など誰一人取り残さない環境の構築が喫緊の課題です。

Roadmap

現状把握	テーマ決定
	R8.6月

アンケート結果や日頃の議会での質問などを丁寧に分析しながら、ワークショップや意見交換会を通して地域が抱える課題を深く掘り下げていきます。

Theme 3

建設経済常任委員会

まちの基盤と産業を支える調査

持続可能な農業経営基盤の強化



農業経営の規模拡大に伴い、他産業並みの組織管理や労働環境の整備が急務となっています。しかし、若者や女性の就農・定着を阻む雇用環境の改善が課題です。農業を他産業と切り離さず、「えるぼし」や「くるみん」などの認定制度を農業法人へ導入する手法を検証し、他産業の成功事例に学び、誰もが選びやすく安心して働き続けられる持続可能な農業経営基盤の構築が喫緊の課題です。

Theme 2

民生常任委員会

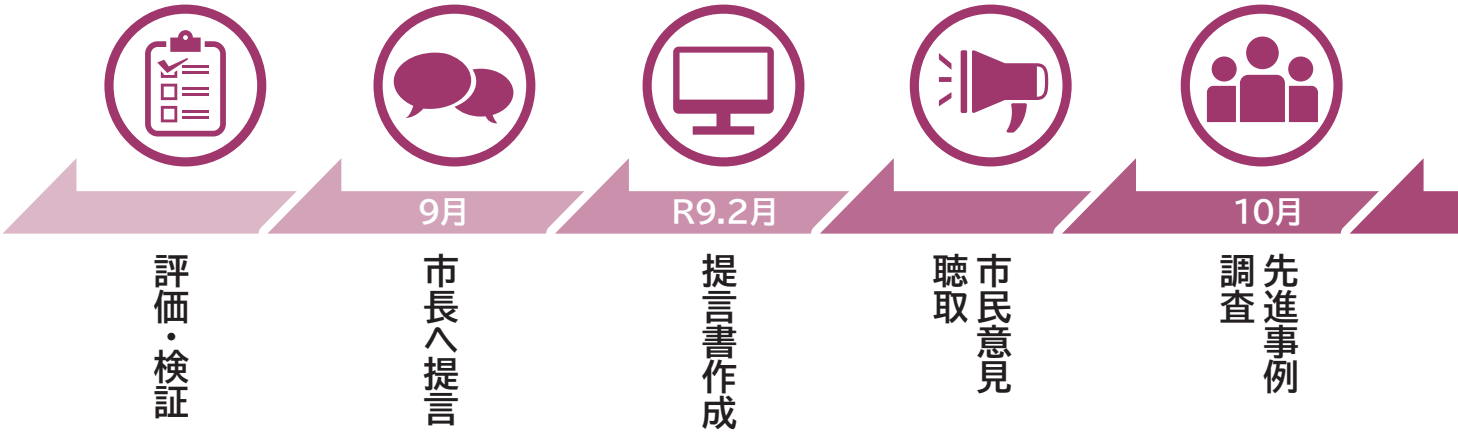
生活と福祉を支える調査

人口減少下の地域コミュニティ

～安心して暮らしていける地域へ～



少子化に伴う担い手不足や行政の下請け化による負担過大、地域の関係性の希薄化から、自治会の統合・解散が顕在化しています。個人のボランティア精神に頼る仕組みは限界を迎えており、今後さらに業務の負担感・行政への不満感が増す恐れがあります。施設の統廃合、地域コミュニティ推進計画の策定が動き始めた今、持続可能な地域コミュニティの再構築は喫緊の課題です。



6月定例議会

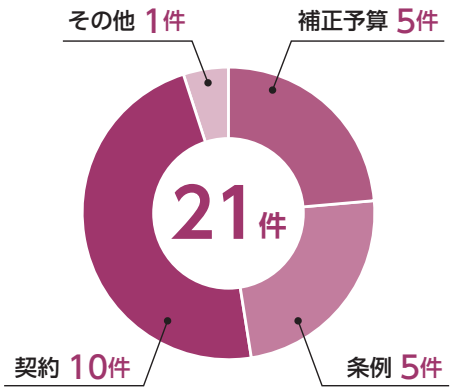
【概要】
本定例議会では、令和8年度一般会計補正予算案をはじめ、様々な議案が審議されました。提出された議案は、慎重な審議を経て、すべて可決されました。

議会期間

16日間

6/3－6/18

審議された議案



常任委員会

6月8日に各常任委員会を開催し、議案15件を審査しました。主な議案については次のとおりです。

【総務】
議第49号　酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議第50号　酒田市基金条例の一部改正について
議第51号　酒田市税条例の一部改正について
ほか　6件

【民生】
議第53号　酒田市印鑑条例及び酒田市手数料条例の一部改正について

【建設経済】
議第59号　物品の取得について（除雪ドーザ）
議第60号　物品の取得について（ロータリ除雪車）
議第61号　請負契約の締結について（第一・第二川南アパート解体工事）
ほか　2件

予算特別委員会

6月11日に予算特別委員会を開催し、議案5件を審査しました。議案については次のとおりです。

議第44号　令和8年度酒田市一般会計補正予算（第2号）
議第45号　令和8年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第2号）
議第46号　令和8年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議第47号　令和8年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
議第48号　令和8年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第1号）

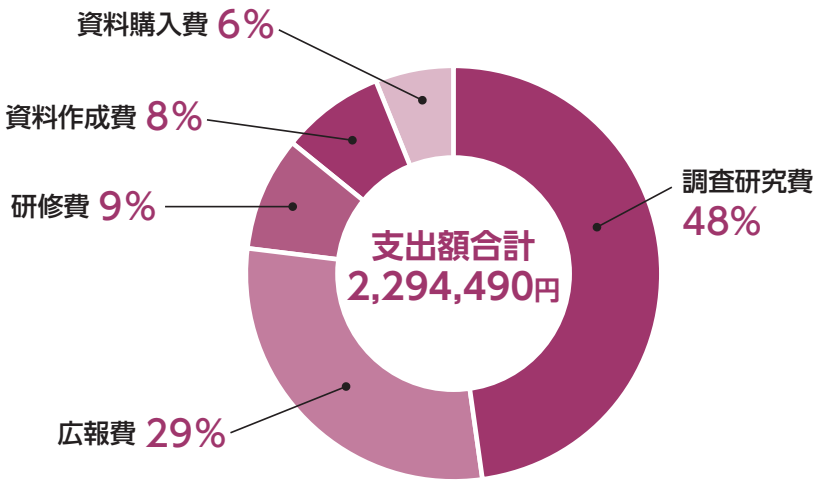
酒田市議会を傍聴してみませんか

受付方法

●本会議、予算特別委員会
市役所3階議場の傍聴席入口前にある受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。
※団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へ問い合わせてください。

●各常任委員会
市役所3階議会事務局で、開会予定時刻の30分前から受付を行います。各委員会の傍聴定員は5名です。定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。
※傍聴の際は、スマホなどの電源をお切りください。また議会、各委員会の許可なく写真撮影等や録音はできません。

令和7年度政務活動費の公表について



酒田市ホームページ
令和7年度政務活動費報告書

政務活動費は、地方自治法および条例に基づき市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されています。本市では、市議会の会派等を対象に、議員一人あたり月額２万５千円を交付しています。また残余額は市に返還されます。

会派とは、市政に対する考えや意見を同じくする議員集団（所属議員３人以上）です。なお３人未満の場合は、会派等となります。

各会派等の政務活動費報告書は、酒田市ホームページで公表しています。

公表する内容は、収支報告書、支出内訳書、領収書などです。なお、令和７年に市議会議員選挙があり、会派構成が変わったため選挙の前後で２表に分けています。

政務活動費収支状況

令和7年4月～11月まで

（単位：円）

会派等名（人）	交付額（円）	支出額（円）	残余額（円）	主な内容
新政会（９人）	1,800,000	12,085	1,787,915	●資料作成費
志友会（６人）	1,200,000	858,003	341,997	●調査研究費（台湾台中市） ●資料作成費 ●資料購入費
共産党市議団（２人）	400,000	81,268	318,732	●資料作成費 ●資料購入費
令和会（２人）	400,000	1,122	398,878	●資料作成費
市民の会（２人）	400,000	164,711	235,289	●研修費（千代田区） ●資料作成費 ●資料購入費
市政研究会（２人→0人）※	300,000	898	299,102	●資料作成費
無会派　佐藤弘※	50,000	0	50,000	
無会派　富樫幸宏	200,000	0	200,000	
合　計	4,750,000	1,118,087	3,631,913	執行率23.5%

令和7年12月～令和8年3月まで

（単位：円）

会派等名（人）	交付額（円）	支出額（円）	残余額（円）	主な内容
新和会（13人）	1,300,000	481,467	818,533	●研修費(市内) ●広報費 ●資料作成費 ●資料購入費
志友会（６人）	600,000	579,824	20,176	●調査研究費（千代田区･中央区） ●広報費 ●資料作成費
市政研究会（３人）	300,000	10,700	289,300	●資料作成費
無会派　大壁洋平	100,000	0	100,000	
無会派　市原栄子	100,000	98,598	1,402	●研修費（オンライン） ●資料作成費 ●資料購入費
無会派　武田恵子	100,000	5,814	94,186	●資料作成費 ●資料購入費
合　計	2,500,000	1,176,403	1,323,597	執行率47.1%

※市政研究会の所属議員が１名、令和７年9月16日付で辞職したことにより、令和７年９月17日から佐藤弘議員が無会派となっています。

○政務活動費として支出できる経費

調　査　研　究　費　会派等が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研　　修　　費　会派等が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広　　報　　費　会派等が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広　　聴　　費　会派等が行う住民からの市政及び会派等の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費　会派等が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会　　議　　費　会派等が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派等としての参加に要する経費
資　料　作　成　費　会派等が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資　料　購　入　費　会派等が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人　　件　　費　会派等が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事　務　所　費　会派等が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

4月臨時議会

令和8年4月17日〈議会期間1日間〉

審議された議案等

●市長提出案件……3件

常任委員会

【民生】

議第43号　酒田市国民健康保険税条例の一部改正について

予算特別委員会

議第41号　令和8年度酒田市一般会計補正予算（第1号）

議第42号　令和8年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第1号）

代表質疑

代表質疑とは…
会派等の代表が、市長提出議案に関して疑問を問い、議案の内容を明確にするもの

1名が代表質疑を行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

議第43号
酒田市国民健康保険税条例の一部改正について

無会派



市原（いちはら）栄子（えいこ）議員

▲動画はこちらから

子ども・子育て支援金制度の国保税上乗せ、市の受け止めは

問　子ども・子育て支援の財源を医療保険（国民健康保険税）に上乗せして集める仕組みについて、ただでさえ負担感の強い国保加入者に、さらなる負担を求めることを市はどう受け止めているか伺う。

答　市長　子ども・子育て支援金制度は全ての健康保険で導入され、社会全体で支え合う仕組みであり、少子化対策は国民皆保険制度の維持や労働力確保など将来的に全国民が恩恵を受けるものであるため、被保険者が負担し支え合うことが必要だと受け止めている。

討論

討論とは…
採決の前に、議員が議題に対して賛成または反対の意見を述べ、意見が違う議員の賛同を求めるもの。

1名が討論を行いました。討論の要旨は次のとおりです。

議第43号
酒田市国民健康保険税条例の一部改正について

反対討論　無会派　市原（いちはら）栄子（えいこ）議員

軽減基準や課税限度額の見直しは評価するが、新たに導入される子ども・子育て支援納付金分の上乗せには賛成できない。少子化対策は本来国の責任で行うべきで医療保険の趣旨と異なる上、2年連続の国保税引上げは低・中所得層の市民生活へ与える影響が大きい。新たな負担を市民に求める前に、まずは市の国民健康保険財政調整基金を活用し、負担軽減を図るべきであることから、本条例の一部改正に反対する。

令和8年定例会　第5回4月臨時議会　議決結果一覧表

議案番号	件　　名	付託委員会	議決結果
報第 3 号	専決事項の報告について（八幡体育館改築工事（建築工事）請負契約の変更）	―	報　告
報第 4 号	専決事項の報告について（公共土木施設災害復旧事業令和７年度公共災害復旧工事（第１工区）請負契約の変更）	―	報　告
報第 5 号	専決事項の報告について（酒田市税条例の一部改正）	―	報　告
報第 6 号	専決事項の報告について（酒田市都市計画税条例の一部改正）	―	報　告
報第 7 号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	―	報　告
報第 8 号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	―	報　告
報第 9 号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	―	報　告
議第４１号	令和８年度酒田市一般会計補正予算（第１号）	予算特別	可　決
議第４２号	令和８年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第１号）	予算特別	可　決
議第４３号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	民　生	可　決

令和8年定例会　第6回6月定例議会　議決結果一覧表

議案番号	件　　名	付託委員会	議決結果
報第１０号	令和７年度酒田市一般会計継続費繰越計算書の報告について	―	報　告
報第１１号	令和７年度酒田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	―	報　告
報第１２号	令和７年度酒田市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	―	報　告
報第１３号	令和７年度酒田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	―	報　告
報第１４号	令和７年度酒田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	―	報　告
報第１５号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	―	報　告
報第１６号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	―	報　告
議第４４号	令和８年度酒田市一般会計補正予算（第２号）	予算特別	可　決
議第４５号	令和８年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第２号）	予算特別	可　決
議第４６号	令和８年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	予算特別	可　決
議第４７号	令和８年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	予算特別	可　決
議第４８号	令和８年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第１号）	予算特別	可　決
議第４９号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総　務	可　決
議第５０号	酒田市基金条例の一部改正について	総　務	可　決
議第５１号	酒田市税条例の一部改正について	総　務	可　決
議第５２号	酒田市都市計画税条例の一部改正について	総　務	可　決
議第５３号	酒田市印鑑条例及び酒田市手数料条例の一部改正について	民　生	可　決
議第５４号	請負契約の締結について（酒田市美術館大規模改修工事（建築工事））	総　務	可　決
議第５５号	物品の取得について（業務用パソコン等）	総　務	可　決
議第５６号	請負契約の締結について（鳥海八幡中学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築工事））	総　務	可　決
議第５７号	物品の取得について（スクールバス）	総　務	可　決
議第５８号	物品の取得について（光ケ丘プールタッチプレート）	総　務	可　決
議第５９号	物品の取得について（除雪ドーザ）	建設経済	可　決
議第６０号	物品の取得について（ロータリ除雪車）	建設経済	可　決
議第６１号	請負契約の締結について（第一・第二川南アパート解体工事）	建設経済	可　決
議第６２号	請負契約の変更について（令和７年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その１））	建設経済	可　決
議第６３号	請負契約の変更について（令和７年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その８））	建設経済	可　決
	議員派遣について	―	可　決

一般質問

一般質問とは…
市政全般に関する
状況や方針を質問し、
報告や説明を求めたり、
疑問を明らかにするもの。



6月16日、17日、18日に計17人が質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



本市のふるさと住民登録制度への対応は

安藤浩夫（あんどうひろお）議員

本制度利用による関係人口づくりは

問 人口の減少、担い手不足、産業の縮小などが懸念される中、総務省の「ふるさと住民登録制度」が開始される。専用アプリを通じて関心のある市町村や都道府県に登録すると、誰もが地域情報や活動サポートを得られる仕組みであり、酒田ファンの可視化、関係人口の拡大、ひいては移住・定住につながる制度である。一方で、ふるさと住民を確保するための募集方法、情報提供の在り方、交流イベントの開催など多くの課題もある。今後の取組を伺う。

候補者層の把握と関係構築に取り組む

答 **地域創生部長** ふるさと住民登録制度の活用に向け、候補者層の把握と関係構築が必要と考える。既存の交流団体や本市出身者などの関係者情報を可視化し、首都圏でのイベントなどの機会を通して住民と直接的な接点をつくることで、顔の見える深い関係性を築いていきたい。

他の質問

本市の健康寿命延伸の現状と今後の取組、遠隔診療の実証と今後の展開は

▲動画はこちらから



農林水産振興基金の条例に基づく活用状況

佐藤喜紀（さとうよしのり）議員

農林水産振興基金の利用実績等は

問 本市では農業経営の減少が進み1経営体の耕作面積が拡大傾向にあり新たな課題が生じている現状である。農業の構造変化に対応し振興を計画的かつ安定的に進めるために設置された基金であると考えるが、これまでの活用実績と成果、今後の活用予定、基金残高の推移と今後の見通しについて伺う。

各事業で実績を上げていると認識

答 **農林水産部長** これまでに約6千365万円を活用し、豚熱対策や高温対策などで成果を上げており、令和8年度は引き続き各事業に充てていく。基金残高は積立金や収入の変動により増減してきたが、恒常的な財源がないため、今後は減少していくものと見込んでいる。農林水産業への理解を広く得ながら、寄附金などの収入がある場合には基金への積立てを行っていきたい。

他の質問

ほかの質問はありません

▲動画はこちらから



障がい者にやさしいまちづくり

佐藤（さとう） 弘（ひろし） 議員

障がい者にやさしいまちマップの作成を

問 障がい者にやさしいまちは、バリアフリーが進んでいるまちといえる。例えば、車いすで行ける場所がどこよりも多いまちがそうである。２０２０年本市でも、市民と協力して、車いすでまちを歩いて集めたリアルな情報が登録されているバリアフリーマップアプリ「ウィーログ」を作成したが今は削除されている。現在、削除されているバリアフリーマップを新たに「障がい者にやさしいまちマップ」として作成すべきと考えるが、所見を伺う。

掲載情報の正確性を担保する方法を検討

答 **健康福祉部長** 更新頻度が下がっており、現状と合わない情報もあることから、市ホームページの掲載を休止しているが、バリアフリーマップの必要性は認識しており、再公開については、掲載情報の正確性などを担保する方法を考えながら検討していきたい。

他の質問 新時代の特別支援教育の在り方、令和の日本型学校教育

▲動画はこちらから



公共空間における防犯カメラ増設

冨樫（とがし） 覚（さとる） 議員

防犯カメラ設置の支援制度拡充は

問 今年の3月末から4月初めにかけて、連続5件の不審火が発生し市民生活に大きな不安を与えた。幸いにも容疑者の検挙に至ったが事件発生から検挙まで一定の期間を要した。近年では防犯カメラは事件発生時の早期解決に重要な役割を果たしているが、本市にはカメラ設置が十分でないとの市民の声がある。自治会での自主的な防犯活動で防犯カメラを設置する場合、支援制度拡充の考えはあるか所見を伺う。

既存制度の周知を通じて支援していく

答 **市民部長** 防犯協会を通じた防犯用品購入費の助成制度があり、自治会などの防犯カメラ設置費も対象となる。また、「ひとづくり・まちづくり総合交付金」も使途が限定されておらず、地域の合意があれば活用可能である。これらの既存制度の周知や相談対応を通じて、防犯対策を支援する方針である。

他の質問 小中学校体育館の夜間一般開放

▲動画はこちらから



イラン情勢に伴う影響は

佐藤（さとう） 猛（たけし） 議員

イラン情勢の影響と対応はどうするか

問 イランへの戦闘が始まった1か月後、法人・個人へアンケートを独自に実施した。法人の72％が「大きな影響がある」と回答し、個人の99％が「生活への影響がある」と回答した。要望では「物価高対策を早く実施してほしい」という切実な声が多く寄せられた。国で約3.1兆円規模の補正予算が成立したが、「重点支援地方交付金の追加」は僅か0.1兆円である。本市としての対応を伺う。

国の対策を基本としつつ支援を検討

答 **市長** イラン情勢による市内経済や市民生活への影響について、庁内連携による実態調査を継続している。現在、操業停止などの事態には至っていないが、原材料の価格高騰などの不安要素は顕在化している。今後は国による対策を基本としつつ重点支援地方交付金などを活用し、市内事業者への支援を検討する方針である。

他の質問 古木の倒木被害の対応、本市における子どもの幸福感

▲動画はこちらから



外航クルーズ船、春の総括と秋への対応

後藤 仁（ごとう ひとみ） 議員

客層によるニーズの違いと今後の対策は

問 4月から5月に9回寄港した外航クルーズ船に対しての取組内容と、それに対しての分析、経済効果は。秋の寄港に向けてどのような取組を検討しているのか。4千人を超える日本人が乗船するジャパネットクルーズは、消費行動や観光ニーズで外国人クルーズとどのような違いがあると認識しているか。

満足度と消費拡大へ体制や分析を検討

答 市長 春の寄港による経済効果は約1億7000万円と試算した。秋に向け運営体制の外部委託やプラットフォーム構築を検討する。外航クルーズ船とジャパネットクルーズとの違いは、今後アンケート調査によりニーズの違いを把握し、満足度向上と消費拡大に向けて具体的に取り組んでいきたい。



これからも多くのクルーズ船が寄港しますように

他の質問 定期船とびしまの更新、使用していない施設（普通財産）の売却促進

▲動画はこちらから



生活支援の給付金はスピードが最優先

松本 国博（まつもと くにひろ） 議員

給付金などを配付する仕組み作りの確立を

問 全市民を対象とする1万円分の紙による生活応援商品券事業は、公平な支援の一方で事務コストや、支給までに時間を要した。生活支援には迅速性が最優先されるなか、国のデジタルインフラであるマイナンバー連動の公金受取口座登録制度を活用しなかった理由を伺う。今後の緊急給付に備え、同制度を用いた迅速な直接振込を給付インフラとして整備・確立すべきと考えるが、実装に向けた展望を伺う。

現状の課題注視し段階的な活用検討

答 企画部長 家計支援に加え、市内事業者の売上拡大と地域活性化を目的としたため、貯蓄や市外流出の懸念がある現金給付は見送った。また、公金受取口座登録制度は迅速な給付に有効と認識し活用実績もあるが、現状では登録率が全市民の約6割に留まるほか、口座情報の不備など誤給付のリスクがある。制度改善や実用性の向上を注視し、段階的な活用を検討する。

他の質問 本市の教育体制において保護者との連携、教育の良さを本市の強みに

▲動画はこちらから



利用実態に合った公共施設運営を！

大壁 洋平（おおかべ ようへい） 議員

早朝・夜間利用など柔軟な運用求める

問 スポーツ施設では、利用希望が夕方以降や休日に集中する一方、夏場は熱中症対策として、屋外施設の利用時間など配慮が必要である。また、イベント時の搬入・搬出時間、夜間利用など、利用者の実情に合った柔軟な対応が求められる。本市として深夜・早朝利用や利用者の実態に沿った運用の必要性について所見を伺う。

利用実態に即し柔軟な運用に努める

答 総務部長 各施設の利用状況は毎年度確認し、最適化・効率化を順次進めている。利用の少ない夜間などの閉館時間を早めるなど、柔軟な運用に努めている。今後の時間変更などに当たっては、需要や発生経費などを整理し、市民の利便性向上や将来的なコスト抑制を見据えながら判断したい。



利用しやすい公共施設を目指して

他の質問 本市のインバウンドの対応状況

▲動画はこちらから



市民の声に寄り添う福祉行政を

市原（いちはら） 栄子（えいこ） 議員

孤独・孤立対策をどう考えるか

問 内閣府の調査では、孤独感が「しばしば・常にある」「時々ある」と回答した人が約4割にのぼり、孤独・孤立が社会全体の課題であることが示された。山形県でも調査を実施し、「孤独・孤立の実態を把握し、効果的な事業を実施するため」「施策検討の基礎資料とするため」と明確に位置付けている。国、県の調査結果を本市ではどのように分析し、どのような課題を導き出し、孤独・孤立状態にある方への支援を考えるのか所見を伺う。

身近な課題と捉え、関係機関の連携強化へ

答 **健康福祉部長** 調査結果により、一定割合の方が孤独感を抱えていることや、孤独・孤立は誰にでも起こり得る身近な課題であると受け止めている。人と人とのつながりを育む取組が重要と考えており、今年度から関係支援機関相互の連携を強化する取組を実施している。

他の質問 新たな防災気象情報への対応

▲動画はこちらから



「日本一女性が働きやすいまち」効果はいつに

伊藤（いとう） 欣哉（きんや） 議員

働く酒田イノベーション戦略とは

問 「日本一女性が働きやすいまち」を掲げ、若者・女性の地元定着を目指して久しいが、その効果が見えず、本市人口は国立社会保障・人口問題研究所の予測を前倒しで減少し続けている。しかも県内他市町村との比較でも本市の減少率は最下位のレベルとなっている。今回新たな戦略として「若者・女性に選ばれる酒田」の実現のため、新な戦略「働く酒田イノベーション戦略」を作成したが、これのポイントとはなにか。

3つのポイントに分け課題解決を図る

答 **副市長** 本戦略のポイントは、職場改革の課題を女性活躍、若者雇用、若者の地元定着・回帰の3つに分類。段階別の目標や項目をチェックリスト化し、企業と行政の役割を明示した点である。現在は16社が参画しており、今年度から5か年間、参加企業の意見を毎年反映し、官民一体で課題解決を図っていきたい。

他の質問 新たな酒田市観光戦略について

▲動画はこちらから



多くのクルーズ船寄港による観光環境への対応

市村（いちむら） 浩一（こういち） 議員

持続可能な仕組みづくりを

問 本年は23回におよぶクルーズ船が酒田港に寄港するが、今まで以上に観光環境が変化する中で持続可能な仕組みを作らなければならないと思う。通訳ガイドや観光ガイドにしても今後多くの時間や日程を割くため、ボランティアでは長続きはしない。今後はガイドや通訳養成講座の開催を含め有償のボランティア体制を構築することも必要と思うが考えを問う。

報酬額や制度の見直しを進めたい

答 **地域創生部長** 現在の観光ガイドへの報酬は1時間当たり1千円であり、資格を持つ通訳案内士とは異なりボランティア並みの額にとどまっている。今後はガイドの能力に応じたキャリアパスの仕組みを検討し、会員増加などの価値創出につながるよう、現在の報酬額や制度の見直しを進めていきたい。

他の質問 酒田の歴史的資源を活用した観光まちづくりを、「仮称・酒田観光まちづくり機構」の体制構築について

▲動画はこちらから



樹木管理と住環境トラブル

遠田（えんた） 敏子（としこ） 議員

独居世帯、空き家はどうすれば？

問 「隣家の木や枝葉が境界を越えて繁り、落ち葉や日照不足、害虫の発生などで困っている」という相談が増えている。高齢化が進み空き家が増える事で、今後益々増加が懸念される。広報に特集を掲載するなど、管理不全・空き家対策など関係機関とも連携を強めるべきと考えるが所見を伺う。

相談者が行き場を失わないよう助言

答 **市民部長** 私有地における民事上の問題は、原則行政が介入できず、当事者間での解決を促している。相談者が行き場を失わないよう、簡易裁判所の調定申立てや、定期的に開催している無料法律相談などを案内している。



隣家から境界を超える木や枝葉

他の質問 予防医療の推進、鳥獣による人身被害支援条例の制定

▲動画はこちらから



大雨災害からの復旧・復興

後藤（ごとう） 啓（ひらく） 議員

農地・道路は細部に目を向けて

問 農地の復旧も進み、今年から田植えのできた水田が広がっているが、田起こし作業中に流木などが出てきて作業効率が非常に悪く、水持ちの悪い田んぼもある。国道344号ののり面にはまだ土砂などが残っている。農地の手直し工事、道路の未整備箇所のいち早い復旧工事の着手を求めるとともに、見通しについて伺う。

耕起作業を取り入れ丁寧に復旧

答 **副市長** 工事完成後の農地に流木などが混入し、ご迷惑をおかけしている。今般の混入物は農家に集積していただき、本市が処分する。今年度は工程を見直し丁寧に復旧していきたい。国道344号に集積したものは県が処分することとなっており、本市としては県と住民をつなぐ役割をしっかり行っていきたい。



すごい土砂！田んぼから

他の質問 鳥海山・飛島ジオパークの世界ジオパーク認定、クマ・イノシシ対策

▲動画はこちらから



クルーズ船寄港による経済効果と受入れ体制

守屋（もりや） 紀彦（のりひこ） 議員

寄港中止時の対策の検討が必要では

問 6月3日に予定していたクルーズ船が台風の影響で寄港中止になった。中止による市内事業者への影響について実態調査する必要があるのではないか。また、今後の※抜港リスクを見据え、情報共有の仕組みづくり、応援消費へのつなげ方、必要に応じた事業者支援策など、市の考えを伺う。

※抜港…悪天候等により予定していた港に寄港しないこと

今回の経験を踏まえ検討していきたい

答 **地域創生部長** 今回の寄港中止の経験を通じ、一元的な情報発信や応援消費の取組を一緒に考えられるプラットフォームが必要であることが分かった。今後は、市役所だけでなく市民の皆様から様々な場所でご協力いただける環境を作ることと併せて、仕組み作りを検討していきたい。



夕方のお見送りに多くの市民が集った

他の質問 市街化調整区域について

▲動画はこちらから



世界基準で「酒田の魅力」を発信！

杉山（すぎやま） 道弘（みちひろ） 議員

ユネスコ世界認定への連携や取組は

問 鳥海山・飛島ジオパークが、令和9年度のユネスコ世界認定を目指している。認定に向けた、ジオパーク協議会、構成自治体、民間事業者、地域住民などとの連携や取組について伺う。また、市民一人ひとりが応援団として、できることは何か伺う。

連携・協働を深め、機運醸成と魅力発信を

答 **地域創生部長** 審査では住民や民間企業との連携・協働が最重要視されるため、各種企画への参加を促し地域全体の機運を高める。市民が地域の恵みを学び、日常生活や観光を通じて魅力を発信することが認定への重要な役割となる。



ウミネコの繁殖地「御積島」

他の質問 スクール・コミュニティの概要と学校評議員会の役割・今後の展望

▲動画はこちらから



保育所の主食持参見直し、完全給食の導入は

ガンバリーニ 杏子（きょうこ） 議員

時代に合わせた子育て世代の負担軽減を

問 本市の多くの保育所では、3歳以上児が毎日主食（白飯）を持参している。近年は猛暑が常態化し、食中毒リスクへの懸念が高まるとともに、共働き家庭の朝の負担も少なくない。子どもの健康と保護者の負担軽減の観点から、夏季限定の完全給食や選択制導入など、現行制度の見直しについて市の考えを伺う。

完全給食は各園の負担が大きく困難

答 **健康福祉部長** 完全給食は保護者の負担を減らせる一方、主食費の徴収や炊飯設備の整備、多様な調理体制など園側の負担が大きく導入は難しい。ただ、保護者が入園時に給食の有無を選べるよう、各園の状況を分かりやすく示す。



今年の夏も暑そうです。衛生面への影響が懸念されます。

他の質問 「観光で稼げるまち」の実現に向けた本市の新たな観光戦略について

▲動画はこちらから

佐藤千佳夫議員の一般質問は、本人より会議録の全文削除の申し出があったため、掲載記事はございません。

議会活動日誌 Diary

4月	10日	委員長会議
		各常任委員協議会
		各常任委員会、議会報編集委員会
	13日	議会運営委員会
	16日	議会報編集委員会
	17日	**4月臨時議会**
		本会議
		民生常任委員会
		予算特別委員会
		議会運営委員会
5月	11日	議会改革推進特別委員会
	13日	建設経済常任委員会意見交換会
		建設経済常任委員会
	14日	民生常任委員会
	22日	総務常任委員会
	26日	各常任委員協議会
		建設経済常任委員会
5月	28日	議会運営委員会
6月	3日	**6月定例議会**（～6/18）
		本会議、議会運営委員会
		全議員勉強会、委員長会議
	5日	議会改革推進特別委員会
	8日	各常任委員会
		総務常任委員会意見交換会
	10日	議会改革推進特別委員会
	11日	予算特別委員会
		全議員勉強会
		議会運営委員会
		議会改革推進特別委員会
	15日	本会議、議会運営委員会
		議会報編集委員会
	16日	本会議、議会運営委員会
	17日	本会議
	18日	本会議

令和8年 9月定例議会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20	21	22
					請願提出締切	
23	24	25	26	27	28	29
					本会議	
30	31	9/1	2	3	4	5
	（議案調査日）	本会議（代表質疑）	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	
6	7	8	9	10	11	12
	決算特別委員会	常任委員会	予算特別委員会	（事務整理日）	本会議（委員会審査報告）	
13	14	15	16	17	18	19
	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）			



表彰（6月3日）

5月27日第102回全国市議会議長会定期総会において4名の議員が勤続表彰を受けられました。

（左から）

25年勤続表彰　田中　廣 議員
15年勤続表彰　田中　斉 議員
10年勤続表彰　佐藤伸二 議員
10年勤続表彰　齋藤　直 議員

編集後記

早いもので今年も折り返し地点を過ぎ、暑さも本番を迎える頃となりました。初夏の市内は、酒田まつりやクルーズ船のお客様で賑わい、まちの活気を感じる機会が多くありました。

一方で、物価高騰や人口減少、地域の担い手不足など、暮らしに関わる課題も山積しています。市民の皆様から寄せられる声を大切にしながら、議会での議論や市政の動きを分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。議会報編集委員会でも、市政や議会を身近に感じていただける紙面づくりに向け、議論を重ねております。今後とも率直なご意見をお寄せください。（守屋紀彦）

議会報編集委員会

委員長　遠田　敏子　　委員　ガンバリーニ　杏子　　田中　廣　　守屋　紀彦
副委員長　杉山　道弘　　大壁　洋平　　後藤　啓　　齋藤　直

※市議会だよりに対するご意見・ご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。
電話0234(26)5770　FAX0234(26)5790　E-mail:gikai@city.sakata.lg.jp

文字はユニバーサルデザインの文字を使用しています。
発行／酒田市議会　議長／進藤 晃　編集／議会報編集委員会　発行部数／41,500部
山形県酒田市本町二丁目2番45号